

あきる野民報

発行責任者/松平重幸 〒197-0826牛沼243-9

TEL&FAX 558-0718

住民の利益をまもり、「住民こそ主人公」のあきる野市政実現をめざして!

2010.2.14 No.526 (毎月2回発行)

日本共産党あきる野市委員会は次の見解を発表しました。

参議院東京選挙区から

必ず小池晃さんを国会へ



拍手
歓声
笑い

日本共産党新春大演説会

日本共産党あきる野市委員会は、二月七日に、日本共産党新春大演説会を、秋川ふれあいセンターで開催しました。二百二十名を超える参加者のなか、元気な「中山一座」による多くの子どもたちの太鼓演奏で、満場拍手喝采のオープニングで始まりました。

若者たちが語り合える場をつくりませんか?

最初に青年代表で雨間に住む平沢ちくささんが登壇。今の青年のおかれている現状を自分の体験を交えて訴え、その思いを若者に心を込めて呼びかけ、会場のみなさんに感銘を与えました。

市議会でタッグを組んで活躍する姿がリアルに!

市議会議員に初当選した、たばたあずみさん、ベテランの山根とみえさん、市議団長の戸沢ひろゆきさんは、議会と地域での取り組みを話し、日本共産党あきる野

市議団の活躍ぶりに、会場から拍手が起きました。

国会の大手術は成功したが、その後の経過が!

最後に登場した小池晃さんは、医師としての自分になぞらえて、政権交替は成功させたが、替わって登場した民主党の混迷ぶりを鋭く批判。「この政治の状況を一歩前に進めるために、必ず、私を国会へ」と訴えながら、一時間近く自分のこと、国会の出来事、内外の事などについて、分かりやすく話をし、参加者に深い感銘を与えました。

何度も共感の拍手と笑いで応えました。今回の演説会の特徴は、日本共産党の演説会としては最高の参加者数だったこと、初めての参加者が多かったことです。今回、党の演説会に初めて参加したという年配の女性が、「最初から最後まで拍手をしていた」など、参加者の多くは「小池さんの話は面白くてあきない、国会の状況がよくわかり、なんとしても国会へ送らねば、そして、もっともつと共産党の議席を増やさなければいけない」。などと語っており、日本共産党をとりまく情勢の変化を感じさせ、参加者に勇気を与えた演説会となりました。

あきる野



こどもぐらし

たばた あずみ

こどもたちもだいが覚えたので、40枚程度で百人一首ができるようになりました

ちび4歳もやりたいけれどひらがなが読めません。おぼえている3首~5首を「ちび札」としてキープ。その程度なら形で見分けて、なんとか取ります。はじめのうちはそれで喜んでいたのですが、5枚では負けは必須。

次なる手段は数撃ちゃ当たる作戦。お手付きルール完全無視。偶然当たり札をたたくと「おれ、はじめからこれじゃないかとおもってたんだ~」にくたらしい。

それでもやっぱり勝てないので、ちびの得意なカルタで最後のひと勝負。兄弟の配慮で圧勝させてもらい、いい気分。兄弟ご苦労!

(10.2.14)

連絡先は☎550-6674

野良望
年齢のせいかわ仲間達が集まると墓地や葬儀の話がよく出ます。「墓地をまだ持っていない」「葬儀に大金を使うのは馬鹿らしい」「海へ散骨するのが理想だ」「大病院へ献体を申し込んだ」などです。「また早いよ」という声も出ますが、現実の話としていざれ直面する事を考えれば笑って済む話ではありません。◆一月、知人の母親の葬儀に参列しました。読経の前に二人の女性信徒による御詠歌があり、その美声と妙なる鉦の音に感心しました。旋律は民謡に似て歌詞は短歌形式の三十一文字、仏教の信仰・旅情を歌います。御詠歌は滅多に聞く機会がありませんから貴重な体験でしたが、これも伝統文化の一つの思いを深く、伝承を残してゆく大切さを痛感しました。◆国の予算削減に向け「事業仕分け」して文化予算が削られつつあります。音楽を代表し中村紘子さん、古典芸能では市川団十郎さんが予算削減による文化の後退を訴えていました。「文化の貧しい国」であってはなりません。(木崎)

原水爆禁止あきる野協議会理事長 瀬沼 辰正



前田眞敬さん
瀬沼辰正さん
高橋養蔵さん

元旦早々、水協の協賛で、野原の方を訴える。中、神方野原の方を訴える。二宮詣をなさる。寒風の中、二宮詣をなさる。

昨年六月二十一日に開催された、あきる野原水協第二十二回総会の年度活動計画の第二項末尾に「また、出来れば、二〇一〇年五月の核不拡散条約再検討会議に向けての代表派遣を目指しましょう」という表現で、オズオズと提案されていました。

代表派遣決まり 署名募金活動を

ニューヨークへの代表派遣が、一〇月の理事会で本決まりになり、第一候補として前田眞敬さん、第二候補として高橋養蔵さんを決定し、「核兵器のない世界を」の署名活動と、派遣のための費用の募金活動に取り組みることとなりました。

ところが二〇〇五年三月の再検討会議において、当時のブッシュ政権により、裏切られ、逆に核兵器廃絶の約束まで白紙に戻すという暴挙にでたものでした。

「核兵器使用した 道義的責任を」

昨年四月五日、ブラハでのオバマ大統領の演説は、「核兵器のない世界を」の演説は、核兵器を使用した唯一の国家として

廃絶への行動を起こす道義的責任があると認め、これこそ画期的なものであります。これを受けて四月二〇日には、ロシアのメドベージェフ大統領の「オバマ演説は核兵器のない世界を促進するもの」と述べ、新しい展開が期待される状況をつくり出しています。

署名と派遣 費用のための 募金に協力を

こんどこそと、被爆国日本の原水爆禁止運動の総力を挙げて、核兵器廃絶の筋道をつけたいと願う、署名行動と募金運動に全力を挙げ取り組んでいるところで。

●署名簿のお問い合わせは、☎042-558-7857 前田眞敬さんまで

お便り欄

「民報」毎号読ませてもらっています。高い水準だなと感じ入っています。「野良望」コラム名いいですね、「こどもぐらし」私も子どもたちとよくやりましたが、たばた家のユーモア思わず笑い出していました。「俳句」「川柳」ただの趣味どころでは……。「歴史探訪」これ、百号を記念して本にまとめないのでしょうか、本にならざれば欲しいものです。(入野・Sさん)



東地区後援会が山根とみえ議員の議会報告会

一月二四日の報告会の中では、国保料が払えず短期保険証の人が加入者の一割の世帯になっていることなどから国保料の引き下げや負担軽減にもつと取り組む必要があるとの意見が出されました。東地区後援会では議会のために山根議員の報告会を行っており、参加者の意見や

山柳

中流が消えてデパート閉店
山沢さん幽霊からも金もらう
あの安保毎日デモの我が青春
我が勲章党と歩んで五十年

藪麦湯 藪麦湯 松籟坊 松籟坊



春はすばらしい。笑顔がみたいなあ。 絵手紙/瀬川和子さん・牛沼在住

俳句

（季語）「恵方」その年の徳のある神縁起の良い神が居る神社の方向を云います。年末に決められ新年になって詣でます。「新しき国道にして恵方みち（富安風生）」
恵方道娘の肩を借り歩む (瀬子)
橋いくつ海へきらめく越の雪 (かほる)
今年こそ今年こそとて初詣 (富)
元旦や人家の屋根に金の鱈 (つや)
みな元氣母へ笑顔のお年玉 (るり子)

地名考・戸倉 ③



戸倉(檜原街道)

この十里木の地名由来は詳しくは分かっていません。想定の一つの説として、五日市宿の或る一定の場所からの距離が十里ある所、そしてこの地に樹木(木)を植えた地である由来。二つ目は乙津の小字曾里郷と同意の説です。「曾里」と「十里」は「ソリ」の当て字とされていて、焼畑や休耕田を意味しますので、この様な土地があった場所となります。「木」は「城(キ)」であると推測すると「城」は集落・村落を意味しますので、地名になった時「城」が「木」に変えられてしまったと考えられます。要約すると焼畑がある集落となります。

歴史探訪

戸倉村について「新編武蔵風土記稿」では次ぎのように書かれています。「木崎詳略」戸倉村は多磨群の西寄りの地である。高倉庄に属し江戸日本橋より52キロの行程であり、村の土地を五つに分け戸倉郷五カ村とこの地では呼んでいる。(続く) 草花・木崎秀治